

伸ばすところ

環境 保全

- 琵琶湖を主とした環境保全と市民の共生
- 湖岸の散歩道
- 琵琶湖を主とした環境保全と市民の共生
- 草津駅にて近辺の史跡ボランティア活動も増やしては?
- 「あおばな」だけではなくインバウンドのあつちやと良いと思う
- 観光開発
- 交通安全
- 教育機関（立命館大学等）との連携強化
- 教育関係のO.A化
- 学校教育で国を大切にする教育
- 人権を大切にする取組
- 人権
- 災害要援者の実態調査の充実
- 子ども
- 子育てでサロンが充実してきた（若い世代の参加が増えた）
- 福祉
- 地域を代表する団体における地域自治
- まちづくり

変えたいところ

道路路網の整備

- 幹線道路を整備する
- 浜街道の道幅を大きく歩道が必要
- 公共交通の利便性
- まめバスを老西にも復活させろ!
- （琵琶湖岸）浜辺のレジャー利用
- 他県の方が集まる仕組みづくり
- まちづくり支援
- まち協の行事が多い
- まちづくりセンターに市の業務の一部を出展してほしい（住民票、確定申告…）
- 防災
- 雨水の川の整備
- JRをくぐる道幅
- 右折ラインを作る
- 矢橋中央 矢橋北
- 交通（特にバス路線）
- 平面の道だけではダメ
- 立体交差を取り入れる
- 学区の区割り
- 旧住人との新住民との交流コミュニティの実
- 児童館が不足している
- 安心して子育てができる制度構築
- そろそろ市長も交代してほしい
- JRをくぐる道幅
- 右折ラインを作る
- 矢橋中央 矢橋北
- 交通（特にバス路線）
- 平面の道だけではダメ
- 立体交差を取り入れる
- 学区の区割り
- 旧住人との新住民との交流コミュニティの実
- 児童館が不足している
- 安心して子育てができる制度構築
- そろそろ市長も交代してほしい

進めたいこと

- 市内の子どもが無料で遊べるような児童館の早期実現をお願いします（浜大津明日都のような）
- 高齢者の憩いの場所を作りたい
- 南草津駅より国道への道の立体交差
- 下流雨水幹線の整備
- まめバスより小型のバスを運行し、こまめな交通手段を増す
- 旧草津川の利用
- 公園だけではなく近くの人だけが利用するのではなく、もっと広く多くの人に利用できるように
- 琵琶湖を活かした観光開発
- 立命館大学との連携強化
- 共催イベントなど
- 災害に強いまちづくりの強化
- 小学校区で学区別りが決まらないうちから、その通りに行政がキチンと分けるべき
- JRアンダーパスの幅を広げる
- 琵琶湖岸の公園の増設と再整備
- まちづくり協議会の持続性強化
- 子育て、高齢者等の手助けボランティアの人材育成

行政がやること

- 浜街道を広げ歩道を作る
- 都市計画道路の早期整備
- 市職員の削減と税の効果的支出
- 子育てに対する経済的支援
- 民間の浜街道バス路線を利用してでも増やしてほしい
- 特に、市役所行き、草津駅行き
- 開業後の住宅地に町内会やまち協への加入を業者を含めて強く打ち出し、まち協センターで地域とつながり、地域のこまめな連携を進めていく
- この地域で推し進めたい業務は、どのくらい必要か、その分を確保する形を示してほしい
- タクシース会社、バス会社とタイアップ
- 小型のバスの運行
- 域内の交通と通過交通を区分する交通網の整備
- まちづくり協議会が管理できる施設の増加（スポーツ施設、観光施設）

地域でできること

- 子どもの安全教育
- まちづくり協議会の体制（組織）強化
- 法人化等
- 琵琶湖岸の公園の増設と再整備
- まちづくり協議会の持続性強化
- 子育て、高齢者等の手助けボランティアの人材育成
- 子どもを安全に育てる
- まちづくり協議会が中心になって、高齢者、子育て中のお母さんが気軽に集えるような場所づくりをする
- 町、会館、集会所などを利用して、高齢者、子育て中のお母さんが気軽に集えるような場所づくりをする
- 人々のふれあう場所を作る
- 次世代リーダー育成
- コミュニティを運営する人材の作成
- ボランティアの育成
- ボランティアの育成
- コミュニティを運営する人材の作成

5 玉川中学校校区

1 実施概要

日 時	令和元年7月31日(水)午後7時～
場 所	草津市立玉川まちづくりセンター2階 大会議室
参 加	玉川中学校区 ○玉川学区 参加者：15名 ワークショップ：Aグループ、Bグループ、Cグループ ○南笠東学区 参加者：11名 ワークショップ：Dグループ、Eグループ
次 第	(1) 開会 (2) 草津市の総合計画について (3) ワークショップ (4) 閉会

2 議 事

(1) 開 会

- 課長あいさつ

(2) 草津市の総合計画について

- 資料に基づき説明

【質疑応答】

質問 基本計画とか基本構想についてレビューされているものはないのか。ここまでできました・できています、これは進捗が遅れていますとかレビューはされていないのですか。

回答 レビューという形でお答えできるかわからないですが、今現行の第5次総合計画・第3期基本計画につきましては、先程申しました通り、令和2年度末が計画期間となっておりますが、この第6次総合計画を策定するにあたりまして、第5次総合計画の総括が必要であると考えておりまして、今現在、まず庁内で、それぞれ22の分野毎に、それぞれの取組の実績・課題について総括、評価を実施中です。8月に市議会の方に報告させていただく予定です。それと合わせまして、第6次総合計画の前段の部分として、草津市の特性、地理的特性、

人口の見通し等を作成中で、先程申し上げました8月上旬の市議会の方にご報告させていただく段階です。

質問 今、説明いただきました1次から5次の話の中で、今日のワークショップですが漠然とここに、「伸ばすところ」「変えたいところ」「進めたいこと」皆さんわかるのかなという話でね、抽象的に、どこどこ・何をではなく、全体的な総合計画自体がなかなか御理解いただけないところが、沢山あると思うので、草津市が言葉は説明いただいたのですが、これについてどういう所を伸ばしていきたいか、どういう所を変えたいかというのは、学区のことで良いのか。市の方で、中学校区単位でやっていただいているのであるが、もう少しわかりにくい。何を聞きたいのかももうひとつわかりづらい。この学区が最初なのか、ほかの学区でやったのか。

回答 学区で申し上げますと、5学区目の順番となっております。全国的な状況で申し上げますと、これから出てくる問題といたしましては、人口減少・少子高齢化、大きな枠組みではそういった問題が出てくることは、もちろん、皆様御存じいただいていると思うのですが、草津市としても、いずれ、今現在は人口が増加している状況ではございますが、この第6次総合計画の期間内に、必ず人口減少・少子高齢化、どの自治体・どの県でも起こり得る問題が、草津市の中でも出てくる。そのような大きな枠組みで考えていただくと話が進みにくいということでしたら、地域別懇談会を開催させていただいている意味といたしまして、まず学区、それぞれの地域の中で課題、考えていただいている問題を切り口として、こういう所は改善していった方が良いのではないかと、こういう所はできているので伸ばしていけば良いのではないかとという切り口で、まず、お話し合い・御意見をいただければと思います。その中でこの部分は、第6次総合計画でもやっていけば良いのではないかなど、大きな流れでの御意見を頂ければと考えております。

(3) ワークショップ

○草津市の特性と課題、これからの取組の方向をつくり上げていくために、「伸ばすところ」、「変えたいところ」、「進めたいこと」、「行政がやること」、「地域でできること」についてグループごとに話し合う予定でしたが、地域が集まっているので、地域の課題やその解決の方向を話し合うべきとの意見があり、その方向で、「地域の課題」、「その解決の方向」を導き出していただきました。

①意見概要

グループ	概要
A	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を、大きくまとめました。駅前の渋滞がかなり慢性化している。それに対しては、南草津駅を中心に交通渋滞をどう解消すべきか。そこを検討する。方向を示すということでこのようにしています。また、駅前渋滞に絡んで道路交通。道路の質を高める。バスターミナル、道路幅あるいは幹線道路の整備、ロータリーの使い分け、駐車場の多層化などが挙げられました。自転車の問題として、自転車に乗る人のマナー、それと合わせて、学生を含めた治安の問題があるので、その対策をちゃんとやる。子育て健康として、福祉にも目を向けていく。文化は、遺跡等々文化保存に努める。コミュニティは、学生さん、高齢者も含めた、いろいろなむすびつき。高齢化対策も、高齢者と若者のコミュニティ、まちづくりとしては、もっと伸びる草津市を、広い視野で、隣4市を一丸に滋賀の顔として戦略を考える。このような方向を示させていただきました。 課題をいくつか出し合おうという中で、総括りをいくつかにさせていただいて、駅前の公共交通の話だとか、人が増えてくることによって治安が、学生さんの通学をどうするのか、高齢化対策、まちづくりでは、これから向こう10年の話ですから、湖南4を視野に入れて、どうあるべきか、滋賀県の第一人者の町であるというビジョンをもって戦略としてもらったかどうか。このような方向性でまとめました。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題は、Aグループの課題と似てくる部分は、確かにありました。駅前、防災・防犯、交通マナー、ほぼこのテーマで課題は占められました。 ・課題解決の方向性は、駅前について、どう開発していくかがすごく大事だということになりました。交通マナーであったり、交通渋滞、この辺も含めて、大学生・立命館大学との関係をどうしていくか、ということをお話し合いました。駅前の乗降者15,000人であったり20,000人の一日で動く人数を、どう誘導していくのがすごく大事。そのための施策として、道路の拡幅などがあるのですが、やはり西友を中心としたバスターミナル、そのバスターミナル自体も複合化した、小さい子が遊びに行っても遊べる、お年寄りが一人遊びに行っても遊べるような所、そのように複合化した誰でも使えるようなバスターミナルを一個仕立てて、交通の誘導をしていけば良いのではないかと。 私共の心がけとして、大学を誘致して、大学を造った・造らせたという事は、その人たちを大切にしようという心をまず置いて、それから方法を考えていかないと、学生の諸君も良い、私たちも良いという形を願っております。そういうことで施策を立てていただきたい。あともう一つ、草津の方は、今一生懸命開発して、駅前もいろいろなことをやっております。

	<p>立体にしたりいろいろやっています。それとはまた別の形で、やはり人口も多い、また車でも来る人も多い、バスも多い、自転車も多い、この南草津を、草津とは違う南草津という頭を切り替えて、市の方でも素晴らしい環境づくりは、違った草津と南草津は、やり方が違うと、僕はそう思います。新たにそういうことを考えながら、頭に入れながら、していただきたいなということをお願いしたいなと思います。</p>
<p>C</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題は、課題として挙げられるものを出しました。一番大きかったのは、交通の部分と、子ども、遊び、公園の部分と、若い世代・高齢者・外国人までのいろいろな、多様な方々がいらっしゃる事を前提としましょう。大学との連携、その他の問題等いろいろ出ています。あと、学生のマナー、大人のエゴ、人づくりを課題として挙げました。 ・課題解決の方向性は、この地域を、学園都市としよう。草津市全体ではなく地域として学園都市の機能を持つようにということ、大前提にしてはどうだろうか。その中で、交通の流れを考えると、大学生の通学の問題、駅から大学、その解決策としての新駅の設置等も検討してはどうか。また、先程出た人間・人づくり、子ども、教育も含めて、学園都市たる人づくり、地域特性を生かした人づくりをするのがテーマではないかということでもとめました。
<p>D</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題は、テーマとしては、安全・安心が大きいと感じました。特に通学路とか子どもたちが歩く道路が狭かったり、そこにパナソニック等いろいろな工場があり、通勤通学の時間帯には、自転車も多い。何千台単位の大学の学生の自転車が通っている。1時限目から3時限目まで滞りなく通っている。まめバスとかあるが利用しにくい。それが背景にあり、高齢化が進んでいる地域もあって、さらにかつ移動手段がなくなかなか難しい。買い物に行くにも近くにスーパーがない。医者に行くのもなかなか大変で大津の方まで行かなければならない。高齢者の方が、安全・安心のテーマからだとなかなか住みづらい地域になっている。その辺を改善するネタとしてどうして行ったら良いかを考えました。 ・課題解決の方向性は、安全・安心をどうするか、子どもたちの安全、道路の安全から行くと、地区内ゾーン30の指定。この辺の高齢化対策が上手くいくと今事故とか起こって問題になっている免許の返納が進むのではないか。それからもう一つ防犯カメラについて意見が出ていました。不審者情報や、空き巣の多い地域もあり、防犯カメラの整備を当然、市・行政も進めなければいけないし、地域としてもある程度投資をしてでも進めていこうという話が出ていました。全体として、安全・安心がテーマとして出てきました。個別には、もう少し歴史文化資産の掘り起こしとか、あるいは、全国的な問題かもしれませんが、火葬場の問題。これは、これからの高齢化に伴いどこも問題になっている。ほかにも細かなところがありますが、安全・安心で発表しました。

E

- ・地域の課題は、町内会での担い手の問題。あとへの引継ぎ、町内会でのサロン、そういったつながりの部分がでてきています。変えたい部分として、どこのグループでも出てきておりましたが、道、道幅、歩道・自転車の分離などの道・交通に関するところ。また別に、高齢化の問題。やはり、道・交通と高齢化の問題が今後つながってくるのではないかと。子ども・子育てをしている方の世代から言うと、仕事を持つ母親が多く子供会とかそういった事業をしていくのが難しい。こども食堂が欲しい等子育てに関する課題も出ています。駅に関すること、JRの新駅に関する要望というか進めたいこととしての意見が出ています。それから、防犯に関する防犯カメラの設置とか防犯・危機対応の意見も出ていました。
- ・課題解決の方向性は、地域性によって課題が違うと思います。南草津駅を中心とする住まいについては、若干捉え方がザクっととらえて中身を具体化すると、学生が沢山おられるからその所を省いてしまうと、非常に高齢化である。その所が現実であると思います。この高齢化に対して、医療でも若干とらえ方が、今度の総合計画でも、滋賀医科大学があるから、私たちの町には、個人病院がございません。今市が3計画を進めようとしておられますが、この3計画をしっかりと総合計画に組み込んでいただきたい。ただ単に、交付金の問題ではなく。1番目は、地域公共交通網形成計画これは非常に大切です。まめバスが走っていますが、今5路線しかございません。もともと9路線あったのですが、乗車率、有料の問題で一度に乗降客が無くなりました。これも福祉分野でやるのか、ほんとに市民の平地を走るバスであるのか、こういうところを明確にしていけないと、25%の乗降客が無ければ廃止していきますよというやり方ではない、本来の目的ではないと思います。公共交通となるとタクシーもその分野になりますね、オンデマンド含めて、だからここまで市もその考えに乗っていただけるのか、当然その地域性の中でその分野をしっかりと当てはめていただくと必要があると思います。それと一番大切なのは、草津市には、大きな皆様の税金、国からの交付金そうした税金の上手く分配、配分のあり方、やはり両駅あります、地域性有ります。そこでまちに偏った税がやはり大きく動いております。そうではなく、玉川にも、南笠東にも、あと残るところの12学区にも、それに準じた税金の配分をしていただく必要があるなと思います。草津駅にも公共の施設がある、当然、南草津駅にも同等に同じ公共施設を造っていくべき。アーバンデザインセンターもありますが、保育関係の分野もありますが、そうではなく全ての分野で両駅を構える中においては、当然同等の施設、もう一つ施設で大事なものは、今草津に146くらいの施設がありますが、多くの施設が築30年を超えています。これの対応に本当に大変なお金がかかります。今、まちづくりセンターの建て替えを進めておられますが、全てのそのようなものに税の投入がどんどん発生してくる。我々の生活の中にそういうものが本当に順当に来るのか

	たとえば非常に難しさもあるし、高齢化も進んでくる、税の適正な配分、これを1番やりたいと思いますので、第6次総合計画には、このところに沿った基本、計画、手段を当てはめていただければ非常にありがたい。
--	--

②参加者感想

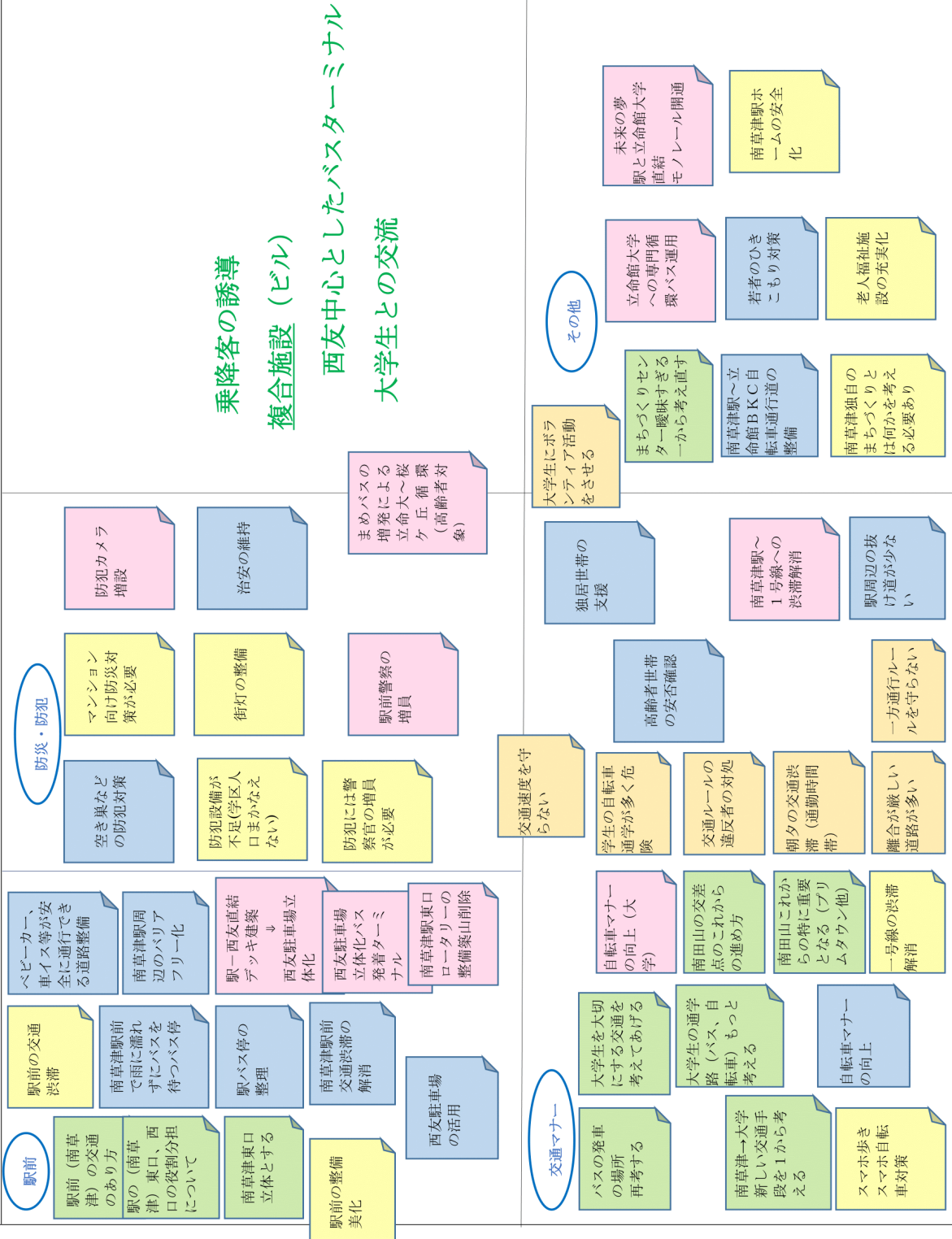
- 進行の段取りをもっと考えて。最後の発表は自主性を持って参加者がすべき。
- 各学区ごとの課題が出た。この解決策についての協議をお願いしたい。
- 課題が絞れて意見が出しやすくなり、良い懇談会になったと思う。
- 本日の課題抽出は第6次総合計画に少しでも吸収されるところがあれば有り難い。これが地域の声。会議の前に不要な発言をしたが、今後ともよろしくをお願いしたい。
- 市民の声を実現するように。
- 提案に対して実現を望む。
- 課題を如何に解決、実行を!
- 新しい取組、なかなか良かった。
- 市が把握している今後の課題について説明してほしかった。今回の活動がどう活かされたかフィードバックをしっかりとしてほしい。
- 事前の根回しが不十分で、準備不足にて意見が充分出せたと言いがたい。
- まちづくりへの取組の第一歩。
- 夢のある都市づくりに考え参考になった。
- ワークショップは良かったと思うが、テーマを絞った方がより良くなったと思う。
- 初めは皆さんが意見を集約されていると知り、事前にワークショップの考え方が示されるべき。
- 協議のポイントの整理がスムーズな進行につながる。
- 課題が多数あるが、少しでも解決できるよう官民合わせて協力して行ければと思う。
- 今日は少しだけの時間と意見だったと思う。何度かこのような機会があるともっと意見を出せたと思う。
- 書いてあることを真摯にご検討いただきたい。
- 10年間という長いスパンの問題を論じるには無理があるのでは?
- 個々の思いや意見が出て、次回の計画に反映させていただきたいと願う。
- テーマ設定がはっきりしていなかったが、意見の中で課題の抽出できた点は良かった。
- 会議の課題を年代毎に組み入れてほしい。同年代だと考えが片寄る。
- ワークショップで出た数々の課題・意見をどのように反映しているのか「見える化」してフィードバックしていただきたい。
- 事前に準備のための資料をいただければ、もう少し深い話になったと思う。

③まとめ

- 地域の課題として、道路交通、交通マナー、駅前の渋滞、治安の悪化、空き家の増加が挙げられており、特に玉川学区では、駅前の渋滞が挙げられています。また、子育ての課題としては、玉川学区では、待機児童。南笠東学区では、小学校児童数の減少が挙げられています。
- 課題解決の方向性として、新駅の設置、草津・南草津両駅に同等の施設の設置などが挙げられ、玉川学区からは、学区を学園都市として考えて、課題を解決してこうという方向性も挙げられました。

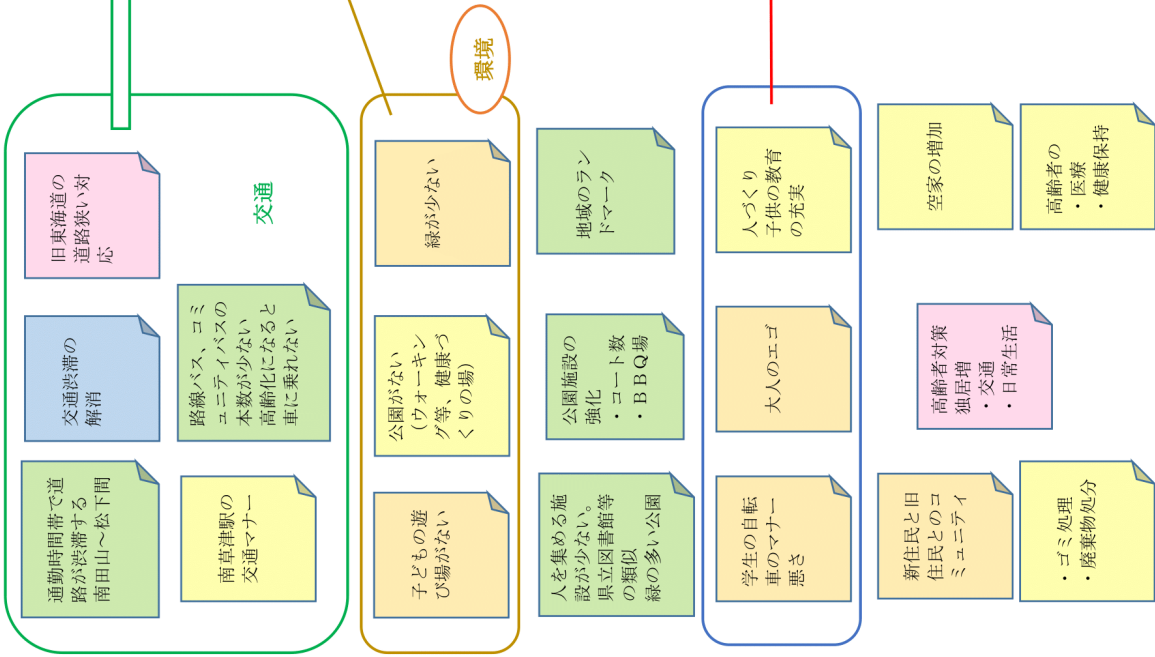
課題解決の方向性

地域の課題



地域の課題

- 若い世代の地域参加
- 高齢者の活躍
- 人口が増えている。増えてくる対応
- 外国人の増加（コミュニティ）
- 立命館大学と地域が連携
- 南草津駅がで、新快速が止まり、さらに発展する場に対策も
- 安全面、防犯面、ポリボックス増
- 循環型社会への取組



課題解決の方向性

